

別紙

新市の名称に関する小委員会は、協議会から示された論点の整理の内容にしたがい、合併に合わせて上越市の名称を変更する場合は、上越市が最終的な判断を行うことが前提となることを確認の上、市の名称についての議論を行った。

議論の結果、共有することとなった共通認識や発言された意見を取りまとめ、以下のとおり報告を行う。

1. 市の名称について

共通認識

- ・上越市の名称は「上越後」という歴史的由来からきている。

意見...上越市の名称を変更するかどうかについては、意見の相違があった。

その内容は次のとおりである。

(「変えない」とする意見)

- ・上越市となってから約35年間の経過したことの重みを考慮し、変えるべきでない。
- ・歴史的な由来を尊重し変えるべきでない。
- ・名称の由来が違うJR上越線沿線(上州・越後)と一緒に議論するのはおかしいので、変えるべきではない。
- ・編入合併では市名変更の事例がほとんどないことから、変えるべきでない。

(「変える」とする意見)

- ・歴史的由来が違うが、JR上越線沿線とは「響き」の面で混同されやすく、「ネームバリュー」も弱いことから変えるべきである。
- ・合併するのであるから、新しくスタートするという観点と編入であっても気持ちは対等(新設)との観点から変えるべきである。
- ・名称を変えることにより、市民の一体感の形成につながるため、変えるべきである。
- ・合併後に名称を変えることとなった場合、住民の経済的負担が増すことから、合併時に変えるべきである。
- ・将来を見据えた名称とするため、変えるべきである。

2. 市の名称を考え、判断するための手法について

共通認識

- ・考えられる手法としては、シンポジウム、アンケート、学識者の意見聴取などがある。

意見...アンケートについては次のとおり意見の相違があった。なお、アンケートの実施を望む意見が多かった。

(「実施してほしい」とする意見)

- ・アンケートは新しいまちの一体感を生み出すための良い手法であり、14市町村一斉で実施してほしい。

(「慎重」を求める意見)

- ・この時期に全体を網羅してアンケートをとることはなじまず、アンケートを一つの集約とすることはできかねる。

3. まとめ

新市の名称に関する議論を通じて、以下の共通認識を確認した。

- ・この14市町村の合併は、自治体数・面積ともに規模が大きなものとなるため、相互の理解と尊重が不可欠である。
- ・21万の新市民がともに手を携えて新しいまちをつくっていくためには、市民の一体感の形成が重要である。
- ・市の名称を変えるかどうかの議論の過程も相互の理解を深める意味において重要である。